

ぎゅうとぎゅうでぎゅぎゅっと～宇和島闘牛を全国へ～

勝間玲奈 情家茉那 兵頭絹 古岩誠悟 盛重奏一郎 薬師寺美羽 指導者：兵頭禎憲

研究の背景

宇和島闘牛は市民の生活・誇り・地域アイデンティティに深く根ざした“文化そのもの”であると言えるが、調査をする中で、見に行ったことのある人が少ないことに知った。闘牛について少しでも知ったり、興味を持ってもらうことで宇和島闘牛の振興に貢献したいと思い活動している。

今の活動

宇和島闘牛 50 周年フェスを計画している。

計画のきっかけ

宇和島闘牛について知り、触れるきっかけを作りたいと思った。→闘牛の 50 周年を記念するとともに、闘牛についてたくさんの人に知ってもらう。

目的

「闘牛の歴史を知る」「楽しみながら学ぶ」
「地域の伝統を学ぶ」

コンセプト

- ・ 闘牛について知らない人でも闘牛について知れるフェス
- ・ 地域交流

フェスの内容（案）

闘牛について知ってもらう

- ・ 宇和島闘牛の歴史、闘牛の技解説をまとめた展示
→実際に観戦するときにより楽しめる

- ・ パブリックビューイングを行う
→実際に闘牛に見ることで応援する楽しさや地域で集まる楽しさを味わってもらう

→地域全体の活性化にもつながるのでは

ご飯で宇和島以外の闘牛のある地域とコラボ

- ・ 岩手県 ・ 沖縄県 ・ 新潟県 ・ 島根県 ・ 鹿児島県

ご当地グルメや郷土料理を集めるもしくはお土産やグッズを販売する

→つながりを作ることで宇和島以外の闘牛について知れる機会ができる

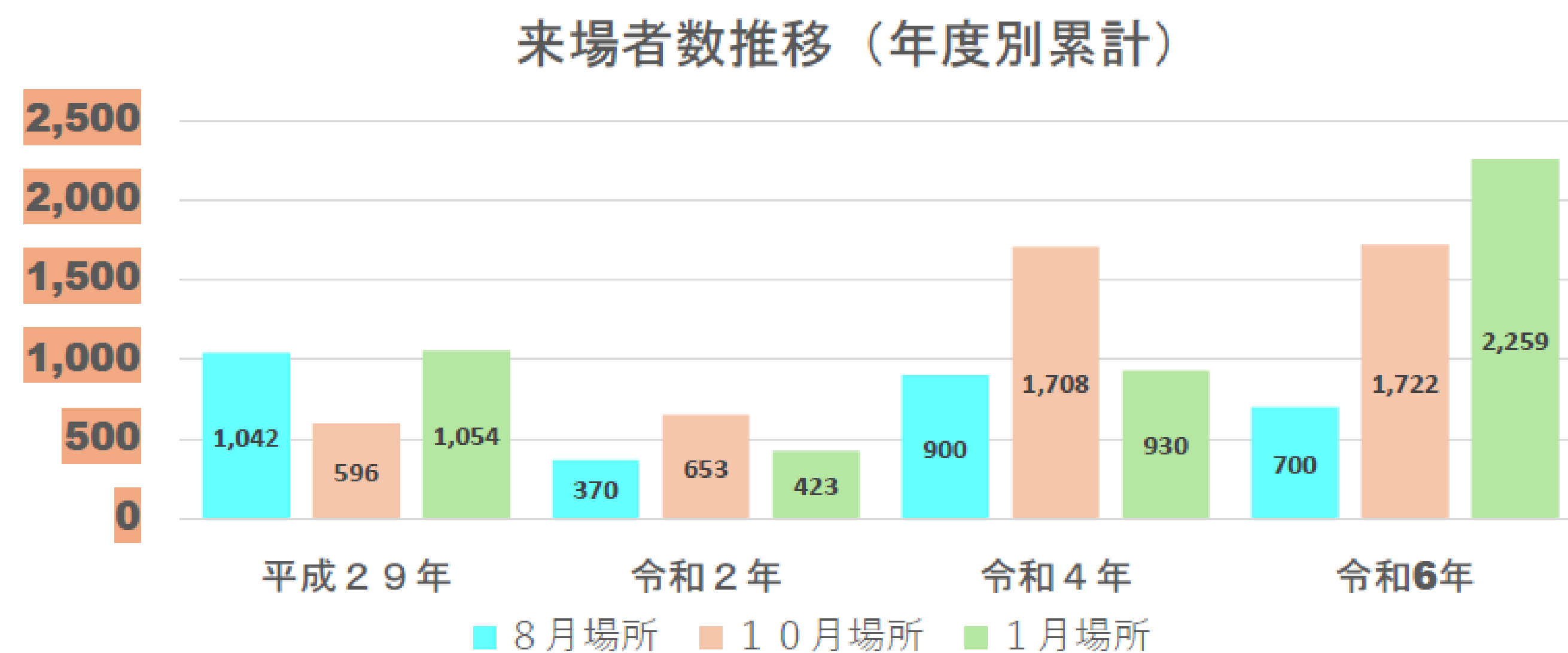
牛のミニゲーム 景品：闘牛のチケット

→実際に闘牛を観に行くきっかけを作る

- ・ 小さい子供向けコーナー

→このフェスで印象に残るいい思い出を作ってもらう

これまでの来場者数



このフェスを通して

「食」「学び」「遊び」「体験」を通して闘牛の魅力伝えるフェス
年間の来場者数の前年比増、5,000人を目指す

市役所に行って

- ・パブリックビューイングについて、ライブではなく、DVDなどを流すのもあり
- ・ほかの地域のお土産持ってこれるかもしれないが料理をするのは厳しい
- ・牛に乗るのも難しい
- ・キッチンカーを集めたりする費用が掛かるのでイベントをしたときにブースを作らせてもらう
- ・市の方が計画している企画と連携するのはどうか
- ・実際に闘牛に来てもらったか確認できるようなものを渡す

課題

パブリックビューイングやグルメ、闘牛に乗るなどといった実現するには少しハードルの高いものが多く、あまり現実的な案ではないことが分かった理想的な案を出すのではなく現実的に考えて、どうすれば闘牛を広めていけるのか考えていく必要がある。

これからについて

フェスという規模でイベントを行うことは難しいと思ったので何かのイベントに参加し、闘牛のブースを設けてもらい、私たちが考えていたフェスの内容をできるだけ実現できるよう協力をしてもらいながら活動していきたい。

1.押し



土俵の中でカー杯押し合う基本手

2.向う突き



真向うから相手の頭を突き攻める

